



【道立図書館のポプラのある前庭】

ポプラの木がある、道立図書館の前庭が「第21回江別市都市景観賞 特別部門」を受賞しました。詳細は8ページをご覧ください。

目次

- ▶ 活動報告1 「利用登録協力館及び出張利用登録会」・・・・・・・・・・ 1～2
- ▶ 電子図書館に新着コンテンツが仲間入り・・・・・・・・・・ 2
- ▶ 活動報告2 「他機関連携」・・・・・・・・・・ 3～4
- ▶ 活動報告3 「書庫ツアー」・・・・・・・・・・ 5
- ▶ 活動報告4 「講演会・資料で語る北海道の歴史（第25回）
 明治期の戦争と『北海道』の兵士たち」・・・・・・・・・・ 6
- ▶ 活動報告5 「連携展示」・・・・・・・・・・ 7～8
- ▶ 江別市都市景観賞受賞「道立図書館のポプラのある前庭」・・・・・・・・・・ 8
- ▶ 活動報告6 「展示を振り返って」・・・・・・・・・・ 9～12
- ▶ 活動報告7 「研修事業」・・・・・・・・・・ 13～15
- ▶ 令和7年度北海道立図書館協議会・・・・・・・・・・ 16
- ▶ 令和7年度（2025年度）
 全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰・・・・・・・・・・ 17
- ▶ 令和7年度（2025年度）下半期の事業一覧・・・・・・・・・・ 18
- ▶ 令和8年度（2026年度）事業計画・・・・・・・・・・ 19
- ▶ 掲示板・・・・・・・・・・ 20

利用登録協力館及び出張利用登録会

【利用登録協力館】

「利用登録（協力館受付方式）」とは、当館への来館の機会が少ない遠隔地在住者の利用促進を目的として、令和6年4月から開始した登録方法です。協力館となっていたいただいた市町村立図書館（公民館等）で利用登録を申し込むと、その場で当館の利用者カードを受け取ることができます。申込後、おおよそ2開館日程度でサービスが受けられるようになります。

令和8年3月現在、60市町村67館の市町村立図書館（公民館等）が協力館として参加しています。

北海道立図書館ホームページトップページ>利用案内>利用者登録

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/guide/qjilds0000000453.html>

【出張利用登録会】

■ 日 時：令和7年7月6日（日）

10:30～12:30

■ 会 場：蘭越町花一会図書館 玄関前

蘭越町花一会図書館敷地内で開催された第8回蘭越ブキニストのコーナーの一つとして実施しました。当日は11名の登録申込みがあり、その他、来場者に向けて、電子図書館や当館の利用促進のため、サービス紹介のチラシ配布や説明なども行いました。



■ 日 時：令和7年10月25日（土）

10:00～17:00

■ 会 場：紀伊國屋書店札幌本店

1階 インナーガーデン



令和4年の初開催から4回目となる実施で電子書籍体験コーナーと併設した利用登録コーナーでは、159名の登録申込みがありました。また、電子書籍体験コーナーでは、紀伊國屋書店社員がKinoDenの使い方説明を行い、実際の画面を見ながら操作方法を聞いている方が多く見られました。

■ 日 時：令和7年11月5日（水）

9:30～16:30

■ 会 場：道立近代美術館 2階ロビー

道立近代美術館の芸術週間にあわせて実施しました。当日は19名の登録申込みがありました。



また、常設展の鑑賞を終えられた方や休憩で2階に来られた来館者に道立図書館電子図書館サービスの紹介を行いました。

（一般資料サービス課）

【電子図書館に新着コンテンツが仲間入り】

令和7年度は、電子図書館（KinoDen）に新たに248点の電子書籍を追加しました。今回のラインナップは、調査研究に役立つ資料や日常生活に身近なテーマ、ビジネス・教養などの実用書、学校教育で活用できるもの、そして北海道がテーマの資料などです。

これにより、合計7,460点がいつでもどこでも閲覧可能になりました。新着コンテンツの一覧は、ホームページ内「サービス案内」>「電子図書館」の「新着リスト」からご確認いただけます。

また、KinoDenトップページには一部資料の書影も掲載中です。ぜひご活用ください。



ホームページ「電子図書館」
内追加コンテンツ一覧



「電子図書館（KinoDen）」
トップページ新着資料

（資料整備課）

他機関連携

【北海道コンサドーレ札幌連携事業】

北海道教育委員会は、民間企業との協働の観点から平成23年10月1日より北海道コンサドーレ札幌と連携協定を締結して、各種事業を実施しています。昨年度は当館と北海道コンサドーレ札幌とのコラボレーションとして、選手12名がSDGs関連資料を紹介するPRリーフレット「読んで学ぼうSDGs」を作成・配布し、ホームページで公開しています。

今年度は、北海道コンサドーレ札幌のサポーターに道立図書館についてもっと知っていただき、道立図書館や電子図書館サービスの利用につながるよう、ホームゲームの試合開始前に子どもたちとその保護者が集まる「ドーレくんひろば」で連携事業を実施しました。

■ 日 時：令和7年6月15日（日）

11:00～14:00

■ 会 場：大和ハウスプレミストドーム（札幌ドーム）

B2インターセクション「ドーレくんひろば」

■ 事業内容：ア SDGs資料展示

イ PRリーフレット配布



ドーレくんがブースに来てくれました

連携リーフレット掲載資料を含めたSDGs関連資料30冊程度及びキャプションを事前に送付し、北海道コンサドーレ札幌のスタッフにより展示をしていただきました。

■ 日 時：令和7年8月30日（土）11:00～14:00

■ 会 場：大和ハウスプレミストドーム（札幌ドーム）

B2インターセクション「ドーレくんひろば」

■ 事業内容：ア SDGs資料、サッカー関連資料、

防災関係資料展示

イ しかけ絵本、大型絵本、

おはなしめいろ展示

ウ 出張利用登録会

エ PRリーフレット配布



PRリーフレットにあわせたSDGsやサッカー関連資料と、隣に出展していた防災の日ブースにちなんだ防災関連資料を計115冊集めた展示コーナーのほか、靴を脱いで親子で展示資料を読めるスペースを用意し、大型絵本やしかけ絵本、展示資料を多くの来場者に楽しんでいただきました。

(一般資料サービス課)

【かるちやるnet 秋のイベント

「発見・体験 文化の秋 ～遊ぼう！学ぼう！あつべつ・えべつ～」

かるちやるnet（文化施設連絡協議会）は、新札幌から江別市にかけてのエリアにある、博物館や水族館・図書館などのネットワークです。

北海道博物館ホームページトップページ>地域連携>かるちやるnet

<https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/effort/#cultural-net>

秋のイベントは、参加館が集まり、体験できる展示やワークショップ、パネル展などを行うもので、9月28日（日）に新さっぽろサンピアザ光の広場で開催しました。当館からは、しかけ絵本や大型絵本、バリアフリー図書などを展示する「いろいろな本大集合」や出張利用登録会を行いました。また、ワークショップコーナーでは、しかけ絵本やエプロンシアターなどを使った「秋をたのしむおはなし会」を開催。子どもだけでなく、大人にも好評でした。



(企画支援課)

書庫ツアー

- 日 時：令和7年11月8日（土）14：00～16：00
- 会 場：北海道立図書館研修室、第一書庫、第二書庫
- 参加者：20名
- 内 容

普段は入ることができない書庫を案内し昭和50年に栗田出版販売株式会社から寄贈された戦後の世相・風俗を感じられる雑誌（栗田雑誌）を中心にご覧いただきました。

初めに、ミニ講座「北海道立図書館書庫ツアー」として、栗田出版販売株式会社から図書・雑誌資料が一括寄贈された経緯について説明を行い、雑誌の所蔵の有無や記事等の検索の仕方について紹介しました。

参加者が栗田雑誌を自由に手に取って見る時間には、思い出の雑誌を通して参加者同士の交流も生まれていました。

終了後のアンケートでは、「日頃目にする事が無い階に案内されたのでどの部分も興味深かった」、「なつかしい雑誌類を見ることが出来て楽しかった」などの感想をいただきました。

今回の書庫ツアーは講義も合わせて2時間という長時間のイベントでしたが、書庫内の様々な資料を十分に満喫して図書館への興味を深める良いきっかけになったようです。



（一般資料サービス課）

講演会・資料で語る北海道の歴史(第25回) 明治期の戦争と『北海道』の兵士たち

- 日 時：令和7年11月1日(土) 14:00~15:30
- 会 場：北海道立図書館研修室
- 参加者：36名
- 内 容

北方資料室では、北海道の歴史や文化を再認識するとともに道立図書館の所蔵資料への興味と理解を深めていただこうと、例年北海道史の専門家による講演会を開催しています。



25回目の開催となる今年は北海道史研究協議会の常任理事であり、北海道大学・酪農学園大学でも非常勤講師を務める相庭達也氏を講師に迎え、2024年に刊行されたご著書『明治期北海道の兵士たち — 徴兵・戦没・慰霊』に基づいて、西南戦争、日清戦争、日露戦争へ北海道から出征し、戦没した兵士たちの実態についてお話ししていただきました。

北海道からの出征兵士のなかには本籍地に戸籍を残しつつ北海道に移住した「寄留民」が本籍地で招集を受けた例が多くあること、道外出身戦没者も北海道出身戦没者と合祀されていることなど、北海道特有の事情にも触れられました。また、西南戦争や台湾植民地戦争に北海道から出征した兵士がいたことがあまり知られていないなど、多くの参加者にとって新しい情報もありました。



出征兵士への寄せ書きがある日の丸旗（講師私物）についても解説いただいた

講師からは、各地に残る公文書や召魂碑の碑文を調査して判明した情報を丹念にひもとき、戦没した兵士を単なる数字ではなく、北海道に生活した人物として捉えたい、という想いが語られました。

講演終了後には、参加者から複数の質問があり、熱心にお聞きいただいたことが伝わりました。雨風の激しい日となり、悪天候の中の開催となりましたが、ご参加いただいた36名の皆さま、ありがとうございました。

(北方資料サービス課)

連携展示

【道立図書館・道立近代美術館連携展示】

道立図書館・道立近代美術館相互の利用者サービスの向上を図るため、平成30年度から近代美術館で開催する展覧会に併せて、美術館内の特設コーナーで当館の蔵書を紹介しています。下半期は2つの展覧会で関連展示を行い、特別展を鑑賞された多くの方々にご覧いただきました。

「トーベとムーミン展～とっておきのものを探しに～」(10月1日(水)～11月24日(月))では、ムーミンとその作者であるトーベ・ヤンソンに関する図書を、「イワタルリ展 息づくガラス」(12月13日(土)～2月15日(日))では、ガラス工芸やその歴史に関する図書を中心に展示しました。



【道立図書館・道議会図書室連携展示】

北海道議会に付属している「議会図書室」。そこでは、議員の方々とそのスタッフの利用を想定して、特徴ある資料を数多く揃えています。

道立図書館では、その議会図書室で「新着図書+(プラス)」と名付け、議会図書室の新着図書に関連する本の展示に取り組んでおり、毎月、道立図書館から選りすぐりの本を紹介しています。



議会図書室のカウンターは、札幌市内でただ一つ道立図書館のインターネット予約貸出に対応している貸出窓口です。インターネットで予約した本を受け取るついでに、ぜひ展示もご覧ください。

お昼時に来室して、その帰りに蕎麦の美味しい議会食堂や定食が充実している道庁食堂でご飯を食べるのも乙なものです。

(一般資料サービス課)

【道立図書館・かでの2・7連携展示】

北海道立道民活動センタービル（かでの2・7）9階のまなびの広場において、昨年度に続いて、道民カレッジのインターネット講座のテーマに連携して、より学びを深め、探求するための資料として、各回10冊程度当館から貸出しを行い、展示に協力しています。

令和7年9～10月は「自主夜間中学について」、11～12月は「障がい者の活動について」がテーマでした。



9～10月「自主夜間中学について」



11～12月「障がい者の活動について」

(一般資料サービス課・北方資料サービス課)

○江別市都市景観賞受賞「道立図書館のポプラのある前庭」

令和7年11月「道立図書館のポプラのある前庭」が江別市都市景観賞を受賞しました。

江別市都市景観賞は、江別市の美しい都市景観を創り出している建物や都市景観の向上・維持に努めている活動などを市民から広く推薦してもらい、地域のシンボリックな建物や装飾、モニュメント、庭園などのほか、地域活動など、特に景観の向上に貢献しているものを表彰する制度で、昭和62年にスタートし、今回で21回目を迎えるものです。

令和7年6月から8月の間に市民から推薦募集された多くの候補の中から今回選定されました。受賞理由としては、ポプラが地域住民から愛される大麻地区のシンボリックな存在であるとともに、整備された周辺の環境などが評価されたとのこと。

当館前庭は、広く地域の方々に利用され、多くの子どもたちも遠足や軽スポーツなどで使っていただいています。遠く国道からも望むことができるポプラの大きな樹影はこれまで多くの市民に愛されてきました。今後もみなさまに憩いの場を提供できるよう、引き続き周辺の整備に努めてまいります。



展示を振り返って

道立図書館では日常の課題解決になる本や利用者の注目の高い本を司書が選び、展示しています。ここでは令和7年8月以降の展示をご紹介します。

【一般資料閲覧室】

○「錦秋の色を愉しむ」

期 間：8月30日(土)～10月30日(木)

展示開始当初はまだ暑い日が続いていましたが、暦の上での季節は秋ということで、紅葉の色として代表的な赤と黄色が表紙の小説を集めて展示しました。見た目の華やかさからか、想定していたよりもずっと多くの方にご利用いただきました。



○「偽書の世界」

期 間：11月1日(土)～12月25日(木)

内容や出自に偽りがある本は、「偽書」と呼ばれ、時に世間を騒がせます。この展示では、そんな古今東西の偽書の翻刻や、研究書、偽書を巡る事件を扱った本を集めました。ニッチなテーマにも関わらず、じわじわと利用が途切れのない、偽書の怪しい魅力が発揮された展示になったと思います。



○「生誕100年 松谷みよ子の本」

期 間：1月4日(日)～2月19日(木)

令和8年は『龍の子太郎』『ちいさいモモちゃん』『いないいないばあ』などの作品で知られる児童文学作家・松谷みよ子氏の生誕100年にあたります。松谷氏は、赤ちゃん絵本の創作や



民話を主題とした童話の発表で、戦後日本の児童文学の世界に大きな足跡を残しました。その作品は世代を超えて親しまれ、今も私たちの記憶の中に生き続けています。

展示では上記の代表作に加えて、全集や民話絵本、そして氏が心血を注いだ平和運動につながる作品など100点あまりをご紹介し、親から子へ、子から孫へと読み継がれる松谷みよ子の世界を、多くの方にお楽しみいただきました。

【ビジネスコーナーPickUp!】

2階ビジネスコーナー横では「ビジネスコーナーPickUp!」と題して、仕事に役立つ資料を紹介する、ミニ展示を実施しています。

10月から12月のテーマは「タイパを極める」。効率的に仕事を進め、時間節約のヒントとなる本約20冊を展示しました。続く12月から3月のテーマは「メンタルを整える」。冬になるとなんだかやる気が起きないなどのプチ不調を改善し、心身のバランスを整えるために役立つ本を紹介しました。

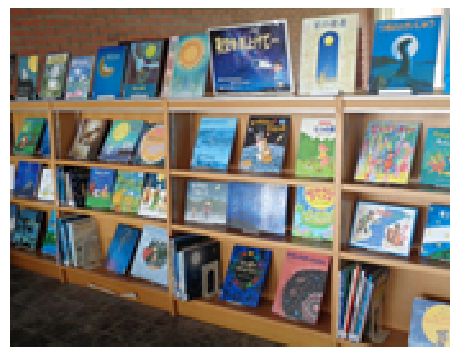


【えほんコーナー】

○「夜空を見上げて」

期 間：8月1日（金）～9月28日（日）

8月から9月にかけては、七夕やペルセウス座流星群、皆既月食といった夜空を見上げたくなる天体にまつわるトピックス（ニュース）がありました。これに併せて夜空を楽しめる絵本を集め、展示しました。



○「おやすみ絵本」

期 間：10月1日（水）～11月27日（木）

だんだん寒くなってきて、布団が恋しくなってくる季節。ぐっすり眠ってすっきり起きられるように、お昼寝の絵本、夢の絵本、夜の絵本など、おやすみ前にぴったりな100冊以上の絵本を展示しました。



○「冬に読みたいあつあつ！あったかおいしい絵本」

期 間：11月29日（土）～1月29日（木）

雪が降りはじめ本格的な冬支度をはじめめる季節に合わせ、おでんやシチュー、おもち、やきいもなど寒い季節にぴったりの、おいしくぽかぽか温まる絵本を集め、展示しました。



（一般資料サービス課）

○重点収集資料展示「お悩み解決本」

期 間：11月29日（土）～1月29日（木）

当館では、各分野にわたって広範囲に資料を収集していますが、特に、道民生活や地域の課題解決に役立ち、関心の高い3つのテーマを「重点テーマ」として設定し、資料を収集しています。

今回は「お悩み解決本」と題し、重点収集した資料の中から、「子育て」「仕事」「介護」「終活」の場面

「困った」や「どうしよう」を解消するヒントとなる本139冊を展示しました。

展示開始当初から「介護」と「終活」に関する本が、年末年始にかけては「子育て」に関する本が多く借りられていた印象でした。

これからも、日々の悩み解決のてがかりに図書館も活用いただけるよう、取り組んでまいります。

（資料整備課）



【北方資料展示コーナー】

○「戦後80年企画展示 北海道空襲を忘れない」

期 間：8月1日（金）～8月28日（木）

第二次世界大戦末期の昭和20年（1945年）7月、道内各地がアメリカ軍の艦載機による空襲を受け、多くの方々が犠牲になりました。この空襲は「北海道空襲」と総称されており、後年、各地の研究者や研究会などの尽力により、多くの記録がまとめられています。本展示は、戦後80年の節目に、資料を通じて戦争の歴史を知り平和について考える機会になれば、と企画しました。会期中は展示ケースでの展示のほか、北方資料閲覧室にミニコーナーを設け、関連資料の貸出しも行いました。



○「〈昭和100年〉セレクション1980's」

期 間：8月30日（土）

～10月30日（木）

令和7年が昭和元年から100年目にあたる節目に、活気に満ち溢れ、好景気に沸いた昭和50年代から平成初頭に焦点を当て、当時の暮らしや流行、若者文化などを紹介しました。ねらいは、60代以上の方々の青春時代にタイムスリップした気持ちにな



って楽しんでいただくことです。展示期間は2か月でしたが、第一弾を「Street, Shopping, Amusement」編、第二弾を「Music, Movie, Cafe & Restaurant」編として、ひと月毎に資料を入れ替えました。当時の街並み、賑わったデパート、今は無き遊園地、一世を風靡したライブハウスやディスコの様子、たくさんあった映画館の公開スケジュールなどをパンフレットや雑誌の記事や広告を中心に展示しました。また、道内の喫茶店やレストランのマッチ箱（職員のコレクション）約200個も併せて並べました。

○「最上徳内・近藤重蔵・間宮林蔵～田沼意次が夢見た蝦夷地と探検者たち～」

期 間：11月1日（土）～1月29日（木）

昨年放送された大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢斬～」で、田沼意次・意知親子が蝦夷地を松前藩から天領（幕府直轄領）にしようと画策する様が描かれました。史実では、田沼意次らは蝦夷地の探検を命じています。



今回の展示では江戸後期に蝦夷地を探検した人物の中でも代表的な最上徳内、近藤重蔵、間宮林蔵にフォーカスし、その人物や当時の蝦夷地について書かれた資料を紹介しました。

また、この3人を題材にした小説やこの時代を舞台にした時代小説、歴史小説を北方資料閲覧室に特設し、併せてこの時代を楽しんでもらうようにしました。

（北方資料サービス課）

研修事業

【令和7年度（2025年度）全道図書館専門研修〈子ども読書〉】

全道図書館専門研修は、図書館サービスの向上と特定分野の専門性を高めるための研修と位置付け、遠隔地からの参加も容易にするため、地域開催も行っているものです。

本研修では、高校生向けの読書活動の推進が多くの図書館や学校で課題とされていることから、北海道学校図書館協会で選定している「こどもたちに読んでほしい200冊」が毎年どのように選定されているのかについてや、高校生たちが選んだ本を書店のフェア企画にした事例を知り、様々な角度からの選書・企画方法について学びました。

■日 時：10月17日（金）

■会 場：帯広市図書館 多目的視聴覚室

■参加人数：26名

■日 程：（敬称略）

講義・実演「読んで読んで読みまくる

～その先にある選書～

北海道学校図書館協会 前選定部長 山本 裕子

事例紹介「全道の高校図書委員・図書局員による店頭
フェアの実施について」

三省堂書店札幌店 係長 工藤 志昇

グループワーク「即席 de YAコーナー」

三省堂書店札幌店 係長 工藤 志昇

北海道立図書館 企画支援課長 伊藤 嘉奈子

■事後アンケートから

- ・選定部での様子と学校図書館での選書について大変興味深かった。図書委員の活動が、子どもの活躍の場をどのように創出するのかについて示唆に富んでいた。
- ・高校生ならではの発想を起点としたフェアは、とてもおもしろく感じた。店頭から他店、図書館へと横に広げていくことがすごいと思った。

- ・話し合いの中で自然と情報交換もできて有意義な時間だった。他グループのアイデアもとても参考になった。まずは知り合いになり、それから何か一緒に始められたらと思う良い機会となった。



講義の様子



事例紹介の様子



グループワークの様子

【令和7年度（2025年度）全道図書館専門研修〈企画広報〉】

利用者を増やすためには日々の広報活動やニーズに合ったイベントの企画が必要不可欠です。本研修では道内図書館の事例紹介や専門家によるカラーデザインの講義等から、企画や広報のノウハウを学び、ワークショップ等を通じて効果的なイベント企画や広報について考察しました。

■日 時：12月11日（木）～12月12日（金）

■会 場：北海道立図書館 研修室

■参加人数：39名

■日 程：（敬称略）

事例紹介「本でつながるまちづくり」

江別市情報図書館 主任 遠藤 史紀

事例紹介

「心をつかむ広報戦略～ポスターやSNSのフル活用～」

稚内市立図書館 館長 近藤 みのり

情報交換「解決したい！イベントや広報の悩み」

稚内市立図書館 館長 近藤 みのり

北海道立図書館企画支援課 専門主任 徳下 公子

講義「カラーでも白黒でもすてきなデザインのコツ」

北海道カラーデザイン研究室 代表 外崎 由香

グループワーク「目指せ！チラシのグレードアップ」

北海道カラーデザイン研究室 代表 外崎 由香

北海道立図書館企画支援課 専門主任 徳下 公子

事例紹介「イベント企画の作り方」

札幌市図書・情報館 司書 中沢 晃美

司書 渡辺 由布子

ワークショップ「協力してできる企画を作りだせ！」

札幌市図書・情報館 司書 中沢 晃美

司書 渡辺 由布子

北海道立図書館企画支援課 専門主任 徳下 公子



質疑応答の様子



役立つスマートフォンアプリの紹介



グループワークの様子

■事後アンケートから

- ・ SNSは即時性と持続性を両立できるように努力していれば、何かしら利用者の目に留まるとわかりました。
- ・ チラシの色の効果的な使い方や、視線の誘導、色のシミュレータのアプリなど、今まで気がつかなかった事を知る事ができて良かったです。
- ・ 誰が、なぜ、どう、誰に、を具体的に絞って企画を実現させていく例をお聞きでき、これからの企画に生かそうと思いました。
- ・ チラシやポスターをなんとなく作成していましたが、論理的にテクニックを使い作成した方が良いと思いました。早速、試してみようと思います。

(企画支援課)

【令和7年度市町村図書館職員レファレンス体験研修】

レファレンスサービス（参考調査）は、図書館資料をはじめとしてインターネット等の外部情報などさまざまな情報を駆使して、多様な住民ニーズに応じていくという、貸出しと並ぶ図書館サービスの柱です。

当館では、レファレンス・スキルの向上を図り、関係機関との連携を深めることを目的とし、市町村図書館職員の経験や希望に基づいたオンデマンド形式の「市町村図書館職員レファレンス体験研修」を実施しています。

令和7年度は、当別町図書館西当別分館、羅臼町図書館、ニセコ町学習交流センターあそぶく、中頓別町図書室、恵庭市立図書館、市立小樽図書館、旭川市中央図書館、札幌市中央図書館の4市4町、8名の方に受講いただきました。



(一般資料サービス課)

令和7年度北海道立図書館協議会

今年度の北海道立図書館協議会については、次のとおり開催しました。

・第1回 8月22日(金)

北海道立図書館 研修室 出席委員 9名

議 題 令和6年度業務実施状況(最終報告)について 他

・第2回 12月17日(水)

北海道立図書館 研修室 出席委員 9名

議 題 令和7年度業務実施状況(中間報告)について 他

・第3回 3月17日(火)

北海道立図書館 研修室 出席委員 7名

議 題 令和8年度北海道立図書館運営計画(重点計画)について 他

◆ 協議会に関する情報をホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。

道立図書館ホームページトップページ>道立図書館について>北海道立図書館協議会

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/about/quInh000000001hv.html>

(管理課)

**令和7年度（2025年度）
全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰**

北海道読書推進運動協議会

全国的な読書活動を進めている（公社）読書推進運動協議会では、11月3日（文化の日）を中心に「読書週間」を定め、事業の一つとして、優れた読書活動を行う地域グループを表彰する「優良読書グループ表彰」（全国表彰）を行っています。

北海道読書推進運動協議会においては、本を読む楽しさを広め、地域文化の向上に貢献する読書グループの事績を称え、全国表彰への推薦と併せて独自に北海道表彰を行っており、今年度は次のとおり決定しました。

■ **全国表彰（1団体）**

- ・おはなしさんた^{えむ}恵夢
（恵庭市 平成元年設立）

■ **北海道表彰 本賞（5団体）**

- ・札幌おはなしの会（札幌市 平成16年設立）
- ・赤ちゃん広場 こぶたのぶーぶ（札幌市 平成11年設立）
- ・うりぼうのポッケ（函館市 平成19年設立）
- ・おはなしの会もこもこ（留萌市 平成13年設立）
- ・おはなしネットぼんぼん（釧路市 平成14年設立）

■ **北海道表彰 奨励賞（1団体）**

- ・おはなしと音楽^{ゆい}～結～（標茶町 令和5年設立）

北海道読書推進運動協議会が発行している『北読進協だより』第47号に、受賞グループによる活動紹介を掲載しています。『北読進協だより』は当館ホームページからご覧いただけます。

道立図書館ホームページトップページ>北海道読書推進運動協議会

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/relation/qjilds0000000fvt.html>

（企画支援課）



2025・第79回読書週間ポスター
（公益社団法人読書推進運動協議会）

令和7年度（2025年度）下半期の事業一覧

	事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数	備考
1	道立図書館・かでの2・7連携展示事業	令和7年5月 ～令和8年2月	札幌市 (道民活動センターかでの 2・7)	道民カレッジのインターネット講座のテーマに合わせて展示	—	
2	北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業	①10月1日(水)～ 11月24日(月) ②12月13日(土) ～2月15日(日)	札幌市 (北海道立近代美術館)	相互の利用者サービスの向上を図るため、道立近代美術館で開催する展覧会に連動し、特設コーナーを設けて道立図書館の蔵書を紹介 ①トーベとムーミン展～とっておきのものを探しに～ ②イワタルリ展 息づくガラス		
3	北海道立図書館出張利用登録会	①7月6日(日) ②8月30日(土) ③9月28日(日) ④10月25日(土) ⑤11月5日(水)	①蘭越町花一会図書館 ②大和ハウスプレミストドーム(札幌ドーム) ③新さっぽろサンピアザ光の広場 ④紀伊國屋書店札幌本店 ⑤北海道立近代美術館	電子図書館や当館の利用促進のPRを兼ねた出張利用登録会	①11名 ②16名 ③16名 ④159名 ⑤19名	人数は登録者数
4	全道図書館専門研修〈子ども読書〉	10月17日(金)	帯広市 (帯広市図書館)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係者向け研修	26名	テーマ:「ついつい読んでみたくなる本のススメ～高校生向け選書と企画～」
5	講演会 資料で語る北海道の歴史(第25回)明治期の戦争と『北海道』の兵士たち	11月1日(土)	北海道立図書館	相庭達也氏を講師にお迎えし、著書『明治期北海道の兵士たち－徴兵・戦没・慰霊』に基づいて、西南戦争、日清戦争、日露戦争へ北海道から出征し、戦没した兵士たちの実態を紹介	36名	
6	北海道立図書館書庫ツアー	11月8日(土)	北海道立図書館	普段は入ることのできない書庫を案内し、利用者の知的好奇心と利用の喚起を図る	20名	
7	北海道図書館振興協議会第2回理事会・全道図書館長会議	11月14日(金)	札幌市 (札幌市中央図書館)	北海道図書館振興協議会理事会、館長会議、講話	37名	講話:「“やりがい”と“協働”を育む図書館職場づくり～館長が促す信頼と成長の組織マネジメント～」 講師:船木幸弘氏(藤女子大学教授)
8	全道図書館専門研修〈企画広報〉	12月11日(木)～ 12日(金)	北海道立図書館	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係者向け研修	39名	テーマ:「注目度がUPする図書館の企画・広報」
9	全道図書館専門研修〈地域資料〉	1月23日(金)	オンライン (Zoom開催)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係者向け研修	40名	テーマ:「地域資料の活用で地域の魅力を高める」

令和8年度（2026年度）事業計画

月	上 旬	中 旬	下 旬
4			子ども読書の日（23日） こどもの読書週間（23日～5月12日） 北図振 第1回理事会・総会（24日 札幌市） こどもの読書週間関連事業（下旬～5月上旬） 図書館記念日（30日）
5	図書館振興の月 北図振 管内図書館振興協議会等地方研究集会（5月から2月 各管内で開催）		北読進協 総会（札幌市） 第1回北海道図書館連絡会議
6		日図協 公共図書館部会総会（東京都） 北図振 全道図書館新任職員研修会（11日～12日 江別市） 北日図連 総会・第1回理事会 北日図連 北日本図書館大会（19日 岩手県）	全公図 定期総会（東京都） 図書館総合展（21日～7月4日 オンライン）
7	全道図書館中堅職員研修会（9日～10日 江別市）		北図振 「北海道図書館関係職員録」発行
8	第1回北海道立図書館協議会 子ども書庫ツアー		
9	北図振 第66回北海道図書館大会（2日～3日 札幌市）		
10	全道図書館専門研修〈修理・製本〉（9日 室蘭市）		図書館総合展（20日～22日 神奈川県）
11	北方資料利用講座 北読進協 優良読書グループ表彰 北図振 第2回理事会・全道図書館長会議（6日 札幌市） 書庫ツアー	文科省 図書館地区別（北日本）研修（青森県） 第2回北海道図書館連絡会議 日図協 全国図書館大会（19日～20日 石川県）	北図振 「北海道の図書館ー令和8年4月1日現在ー」発行 日図協 全国公共図書館研究集会（サービス、総合・経営部門）兼北日図連 北日本図書館連盟研究協議会 兼全道図書館専門研修〈利用者サービス〉（26日 札幌市）
12	北学図 青少年読書感想文全道コンクール及び北海道指定図書読書感想文コンクール表彰式（札幌市） 第2回北海道図書館連絡会議	第2回北海道立図書館協議会	
1	北学図 北海道学校図書館研修講座		全道図書館専門研修〈企画・広報〉（22日 オンライン）
2			北日図連 第2回理事会
3	蔵書点検（3日～9日）	第3回北海道立図書館協議会	

<凡例>

- ・北図振・・・北海道図書館振興協議会 ・北日図連・・・北日本図書館連盟 ・北読進協・・・北海道読書推進運動協議会
- ・北学図・・・北海道学校図書館協会 ・日図協・・・日本図書館協会 ・全公図・・・全国公共図書館協議会

※北海道立図書館が直接運営するもののほかに、関係団体が運営する行事についても記載しています。

掲 示 板

【雑誌スポンサー制度のご案内】

今年度は、江別友の会様に加え、(株)ST Agency Japan様にも雑誌スポンサーとしてご協力いただけることになりました。

現在、(株)わかさいも本舗様、(株)北菓楼様、(株)コンサドーレ様、北海道農業協同組合中央会(JAグループ北海道)様にもご支援をいただいております。厚く御礼申し上げます。

雑誌スポンサー制度は、当館の雑誌のカバーやホームページに広告を掲載できる制度で、企業の社会貢献とPRの機会になります。随時募集中ですので、興味のある方は利用サービス部資料整備課までお気軽にお問い合わせください。

北海道立図書館ホームページ>雑誌スポンサー

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/sponsor/index.html>

(資料整備課)

北海道立図書館報 第220号

令和8年(2026年)3月27日発行

北海道立図書館長 岸 本 亮

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL:011-386-8521(代表)

ダイヤルイン 386-8531(総務企画部)

386-8522(一般資料室)

386-8523(北方資料室)

FAX:011-386-6906

E-mail:support@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ:https://www.library.pref.hokkaido.jp